

～ 多文化共生社会の構築を推進する事業 ～

1. 多文化共生社会づくり推進事業

(1) 多文化共生のまちづくりサポート事業

急増する外国人市民（新型コロナウイルス感染症の影響により近年は横ばい）が、暮らしのあらゆる場面で快適な生活が営めるよう、様々なサポート事業を行いました。

① 多文化共生オフィス運営事業（熊本市外国人総合相談プラザ）

国際交流会館2F、外国人総合相談プラザにおいて、外国人市民からの相談や問い合わせに対応しました。特に、新型コロナウイルス感染症対策に関する情報や症状、ワクチン接種、PCR検査に関するものは多く、さらに、陽性者の聞取りには、3者通話システムを活用した通訳協力を行いました。



また、直接相談に来られない方々のために、オンラインで相談ができるシステムを導入しました。その他、プラザコーディネーター、多言語相談員、専門相談員の方々と情報共有及び連携強化のための会議を開催しました。

問合せ件数：2,747件 うち 相談件数：908件

《相談内容とスケジュール》

日本語、英語、フランス語生活相談	常時	10:00～18:00
中国語生活・教育相談	水、金、日曜	13:00～18:00
韓国語生活相談 ※令和3年10月まで実施。11月以降については、熊本市の国際交流員による相談で対応	第4水、木曜	13:00～17:00
スペイン語相談	第1金曜	13:00～17:00
タガログ語相談	第2水曜	13:00～17:00
ベトナム語相談	第1・3水、日曜	13:00～17:00
出入国管理在留資格に関する相談	第1水、第3日曜	13:00～16:00
外国人のための無料法律相談	第3土曜（要予約）	14:00～16:00
外国ルーツの子どもに関する教育相談	※予約対応	
外国人のための心の相談室	※予約対応	
おしごと相談	第2水曜	10:00～18:00
住まいの相談	第3水曜	13:00～17:00

●多言語相談員：

日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、スペイン語、フランス語、ベトナム語

●専門相談員：

熊本県弁護士会（法律）、熊本県行政書士会（出入国管理、在留資格）、
熊本市居住支援協議会（居住）、マイスティア（就労）、
NPO 法人外国から来た子ども支援ネット（外国ルーツの子どもの教育相談）

●3者通訳システム（20 言語対応）

【詳細】英語、中国語（北京語）、韓国語、タイ語、ロシア語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、マレー語、タガログ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語

●ビデオ通訳システム（8 言語対応）

【詳細】英語、中国語（北京語）、韓国語、タイ語、ロシア語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語

●熊本市の国際交流員による相談（内容とスケジュール）

ドイツ相談	毎週水曜	13:00～17:00
韓国相談	毎週木曜	13:00～17:00
アメリカ相談	毎週金曜	13:00～17:00

※中国相談は、中国国際交流員が新型コロナウイルス感染症の影響で未着任のため未実施

●生活ガイダンスの実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活ガイダンスは「災害時に使えるあんしんノート」「新型コロナワクチン予約方法」についての動画配信を行いました。

動画制作回数：2 回

●市政だよりの多言語化（やさしい日本語、英語、中国語、韓国語）とホームページ掲載

熊本市が発行する「市政だより」の紙面から、外国人市民が生活に必要な情報をやさしい日本語、英語、中国語、韓国語に翻訳し、事業団ホームページで公開しました。新型コロナウイルス感染症に関する情報が多く、情報ボランティアをはじめ、多言語相談員の方々へ協力をいただき、タイムリーな情報提供にも心掛けました。

●あんしん・あんぜん 防災・生活情報 e メールマガジン（外国人市民向け生活情報）

生活に関する情報を多言語（やさしい日本語、英語、中国語、韓国語）で配信。

（毎月 10 日配信）

登録者数 611 人

（内訳：英語 345 人、中国語 146 人、日本語 100 人、韓国語 20 人）

② 多文化共生月間事業

毎年 2 月を多文化共生月間と位置付け、同月間内において下記の事業を開催しました。当初予定していた外国人市民と日本人市民が集い、異文化紹介などを行う「多文化サタデー」は、新型コロナウイルス感染症対策の観点より中止しました。また、他団体等と共催で開催を計画していたイベントは日程の変更、またはオンラインで開催しました。

●多文化共生シンポジウム

「外国人市民と地域の共生を考える～ポストコロナ時代を見据えて～」

日本の人口減少が進む一方、増加が予想される外国人をどのように地域で受入、共生社会を築いていくのか、ポストコロナ時代を見据え、地域の多文化共生社会推進を考えるシンポジウムを開催しました。開催については、新型コロナウイルス感染症対策の観点からオンラインと、対面での参加を選択できるハイブリッド形式で開催しました。



日 時：令和 4 年 2 月 26 日（土）14:00～17:00

場 所：国際交流会館 6F ホール及びオンライン

内 容：（1 部）基調講演

「人口激減時代を迎えて-多文化共生と日本の未来-」

講 師：毛受 敏弘氏（公益財団法人日本国際交流センター執行理事）

（2 部）相談事例発表～地域に求められていることを考える～

事例発表：

阿南 栄子氏 熊本県外国人サポートセンター コーディネーター

俣野 智子氏 天草市外国人総合相談窓口相談員

野崎 知美氏 天草市外国人総合相談窓口相談員

田辺寿一郎氏 熊本市外国人総合相談プラザ コーディネーター

参 加 費：無料

参加人数：92 人

●外国人コミュニティイベント「多文化サタデー」

新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

●多文化共生パネル展

多文化共生月間の期間中、国際交流会館 1 階エントランスホールにて多文化共生パネル展を開催しました。

期 間：令和 4 年 2 月 1 日（火）～27 日（日）

場 所：国際交流会館 1F エントランスロビー

内 容：熊本市区別の外国人状況（人数、国籍、在留資格等）や、
事業団の多文化共生に関する活動紹介、
外国人総合相談プラザ相談事例紹介等の展示

来場者数：約 300 人

●その他のイベント

- ・多文化共生シンポジウム～みんなが知っている民話～

日 時：令和 4 年 2 月 18 日（金）13:00～15:00

場 所：オンライン

参 加 費：無料

参加人数：50 人

共催団体：熊本留学生交流推進会議

- ・映画上映会「ムヒカ～世界で一番貧しい大統領から日本人へ～」

日 時：令和 4 年 3 月 9 日（水）19:30～21:00

場 所：国際交流会館 6F ホール

参 加 費：500 円

参加人数：35 人

共催団体：JICA デスク熊本

③ 地域サポート事業（国際交流会館外での外国人市民へのサポート）

自治体からの要請により、熊本市で生活する外国人及び外国にルーツを持つ市民への文化・言語通訳等、生活サポートを行いました。

出産後の外国人市民への家庭訪問において、赤ちゃんの発育状況や母親の産後の健康状況の確認など保健師に同行し対応しました。教育現場では、外国ルーツの生徒へのメンタルケアや保護者に対する説明（学校生活やイスラム児童への給食など）の通訳を行いました。

相談件数：26件

（内容）赤ちゃん訪問（妊婦訪問含む）11件、教育（発達、療育含む）5件、異文化理解4件、児童相談2件、メンタルケア1件、検診・予防接種1件、幼稚園（就園関係）1件、申請手続き1件

（地域）アジア19件、アフリカ5件、オセアニア1件、北米1件

④ 医療通訳ボランティア派遣制度

メディカルサポート熊本と連携し、研修を受けた登録ボランティアを、提携する医療機関からの要請により医療通訳ボランティアとして派遣しました。同ボランティアで対応できない言語は、多言語相談員及び外国人市民コミュニティに協力いただき対応しました。

提携する医療機関数：8医療機関（順不同）

国立病院機構熊本医療センター・熊本大学付属病院・熊本赤十字病院・福田病院・熊本中央病院・熊本機能病院・くまもと森都総合病院・桜十字病院

依頼件数：83件（英語54件、中国語26件、ベトナム語2件、ヒンディー語1件）

●医療通訳ボランティアスキルアップ研修

活動中の医療通訳ボランティアを対象に、医療通訳レベル向上を目的にスキルアップ研修をオンラインにて開催しました。

日 時：令和3年6月6日（日）13:00～16:00

場 所：オンライン

講 師：益田 充氏（日本赤十字社和歌山医療センター医師）

参加人数：11人

(2) 日本語支援事業

外国人市民が熊本での生活に早く慣れ、より豊かな暮らしができるよう日本語会話や、生活習慣を学ぶ日本語支援事業を開催しました。日本語学習をサポートする生活日本語支援ボランティアとの対話による日本語交流や、より対話が楽しめるように日本文化体験等も取り入れ、交流を通して楽しく学べるよう工夫しました。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、活動者数及び学習者数は減少しました。

① くらしのにほんごくらぶ

外国人市民が熊本で生活する上で必要な日本語を習得できるよう、日本語会話や日本の生活習慣を学ぶ機会を提供しました。日本語学習をサポートする生活日本語支援ボランティア（以下、ボランティア）との対話活動を中心に行いました。

日 時：毎週火曜 10:00～12:00

毎週水曜 10:00～12:00、14:00～16:00、18:30～20:00

毎週日曜 10:00～12:00、14:00～16:00

学習人数：延べ 549 人
ボランティア活動人数：延べ 586 人
場 所： 国際交流会館 2F 交流ラウンジ
参 加 費： 100 円



●年末交流会

日 時：令和3年 12 月 19 日（日）13:30～15:30
場 所：国際交流会館 4F 第 3 会議室
参加人数：52 人

② 初級日本語講座「はじめてのにほんご」

日本語を学んだことのない外国人市民や、来熊したばかりの外国人市民を対象に、日本語の基礎文型や文法をプロの日本語教師から授業形式で学ぶ講座を実施しました。

当初、年 2 回の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で 1 回のみの開催となりました。

日 程：7～8 月コース 令和 3 年 7 月 1 日（木）～8 月 30 日（月）
※上記期間中の月木金で、計 22 日実施。（月曜日が休館日の日はお休み。）
時 間：9:30～11:30
講 師：日本語教師（大学講師、日本語学校講師など）
参加人数：6 人

③ 生活日本語支援ボランティア研修会

ボランティアの資質向上に向け、地域日本語教室の趣旨、目的や外国人を取り巻く環境、日本語教育について学ぶ研修会を同じ内容で午前・午後に分けて実施しました。

日 時：令和3年 7 月 25 日（日）
（午前）10:00～12:00／（午後）13:30～15:30
内 容：・日本語教室の概要と昨年度の報告、多文化共生のまちづくり
講師：事業団職員
・会話しながらできることを増やす日本語教育
講師：畠山 真一氏
（尚絅大学現代文化学部文化コミュニケーション学科 教授）
場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ
参加人数：42 人 （午前 23 人、午後 19 人）

④ 新規生活日本語支援ボランティア募集説明会・養成講座

新型コロナウイルス感染症の影響で、東区のボランティアが不足していたため、同区を中心に活動できる新規のボランティアを募集し、説明会及び養成講座を開催しました。

●オリエンテーション

日 時：令和 3 年 7 月 31 日（土）13:30～15:00
場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ
参加人数：17 人

●養成講座（2回）

《第1回目》

日 時：令和3年10月2日（土）13:15～16:30

内 容：やさしい日本語と傾聴

講 師：道本 ゆう子氏（日本語教師）

場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ

参加人数：15人

《第2回目》

日 時：令和3年10月16日（土）13:30～16:30

内 容：多文化共生のまちづくり、ボランティアの心構え

講 師：泉 千草氏、事業団スタッフ

場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ

参加人数：15人



⑤ 地域日本語教室運営事業

【健軍教室（健軍商店街よって館ね）】

日 時：毎月第1・第3・第4火曜 10:00～11:30

学習人数：延べ14人

参加費：無料

ボランティア活動人数：延べ14人

【武蔵ヶ丘教室（菊陽町西部町民センター）】

日 時：毎週火曜 10:00～11:30

学習人数：延べ82人

参加費：300円/月

ボランティア活動人数：延べ83人



【東区くらしのにほんごくらぶ（東部公民館）】

日 時：毎月第1・3日曜 10:00～11:30

学習人数：延べ21人

参加費：無料

ボランティア活動人数：延べ17人

【西区くらしのにほんご（田崎市場会館）】

日 時：毎月第2・4土曜日 13:30～15:00

学習人数：延べ21人

参加費：無料

ボランティア活動人数：延べ39人

※田崎市場会館は使用できない期間が長かったため、
国際交流会館 2F 交流ラウンジを使用



【南区くらしのにほんご（富合公民館）】

日 時：毎月第1・3日曜日 13:30～15:00

学習人数：延べ 26 人

参加費：無料

ボランティア活動人数：延べ 57 人

【くらしのにほんごくらぶ オンライン】

新型コロナウイルス感染症の影響により安定的に日本語教室の開催ができない状態が続いたため、オンラインによる「にほんごくらぶ」を試験的に 6 回開催しました。ボランティアの方々には、事前にオンライン講習会（無料）を受けていただき実施しました。

・日 時：令和 4 年 2 月 16 日（水）18:00～19:30

学習人数：3 人

ボランティア活動人数：9 人

・日 時：令和 4 年 2 月 20 日（日）10:00～12:00

学習人数：9 人

ボランティア活動人数：14 人

・日 時：令和 4 年 2 月 27 日（日）14:00～16:00

学習人数：9 人

ボランティア活動人数：10 人

・日 時：令和 4 年 3 月 6 日（日）10:00～12:00

学習人数：6 人

ボランティア活動人数：8 人

・日 時：令和 4 年 3 月 16 日（水）18:00～19:30

学習人数：7 人

ボランティア活動人数：6 人

・日 時：令和 4 年 3 月 22 日（火）10:00～12:00

学習人数：2 人

ボランティア活動人数：6 人

【オンラインにほんごおしゃべり会】

日本語学習者向けに、日本語会話の機会を提供するため「オンラインにほんごおしゃべり会」を開催しました。任意で決めたトピックについて参加者で話した後、オンラインの機能を活用し、少人数に分かれて日本語会話を行いました。

日 時：毎月第 2、4 土曜 19:00～20:30

参加費：無料

学習人数：延べ 140 人

ボランティア活動人数：延べ 120 人



(3)「外国人のため」の防災事業

① 外国人のための防災について学ぶ研修会

熊本市危機管理防災総室職員を講師に迎え、台風発生メカニズムとその被害、対処法や、「マイタイムライン」の作成をとおして避難の準備とタイミングについて学習しました。また、避難所設営とそこでの生活についての体験型ワークを実施しました。



日 時：令和3年7月22日（木）14:00～16:00

場 所：国際交流会館 4F 第3会議室、5階大広間 A

参加人数：13人

② 災害時外国人支援多言語サポーター養成講座

大規模災害発生時に、外国人被災者への適切な情報提供及び地域における外国人被災者の情報収集を行い、情報の集約・発信に貢献し、市民と外国人市民を繋ぐことができる災害時外国人支援多言語サポーターを養成する講座をオンラインにて開催しました。

日 時：令和4年3月12日（土）、20日（日）、27日（日）14:00～16:00

※20日（日）の内容は必須内容につき、

補講を23日（水）19:00～21:00で実施

場 所：オンライン

参加人数：11人

③ K-SAFE 運営

災害初期段階で外国人市民だけではなく、国外旅行者など短期滞在者にも迅速に多言語情報の発信、外国人被災者の安否確認が効率的かつ的確に実施できる K-SAFE 災害メール配信システムの運用・管理を行いました。

登録人数：611人（英語 345人、中国語 146人、日本語 100人、韓国語 20人）

※K-SAFE の配信内容

- ・災害情報メール配信 8件

台風、大雨、地震等災害時に多言語での災害情報メールを配信。

- ・生活情報等配信 17件

日本語学習情報や生活情報、市政だより情報等を定期的に配信。

(4) 外国ルーツの子どもの支援事業

親の国際結婚に伴い来日する子どもや、海外から呼び寄せられる子どもたちを支援するため、民間の支援団体と協力し、以下の事業を実施しました。

① 中国帰国・外国人生徒と保護者のための進路ガイダンス

帰国者の呼び寄せや、親の国際結婚などで来日した外国にルーツを持つ子どもたち及びその保護者を対象に、日本の教育システムや高校受験の際の特別措置・配慮などについて詳しく説明をする進路ガイダンスを実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により内容を縮小し、熊本県教育委員会からの説明と個別相談会をルーツ（言語）別に分け、開催しました。

日 時：令和3年7月11日（日）13:00～16:30

場 所：国際交流会館 4F 第1会議室・第3会議室

内 容：【A】中国語・韓国語のわかる人 13:00～14:30

【B】英語、その他の言語がわかる人 15:00～16:30

参 加 費：無料

参加人数：123 人（以下、内訳）

【A】 62 人

（中学生 10 人、保護者 9 人、中学校教諭 19 人、
通訳 5 人、高校生 2 人、大学生 2 人、県教委
2 人、県人教 1 人、市教委 1 人、支援ネット
7 人、事業団 4 人）



【B】 61 人

（中学生 10 人、保護者 8 人、中学校教諭 20 人、通訳 4 人、高校生 3 人、
大学生 2 人、県教委 1 人、県人教 1 人、市教委 1 人、支援ネット 7 人、
事業団 4 人）

② 外国籍児童のための教育サポート（おるがったステーション）

義務教育期間における日本語指導が必要な外国籍児童生徒に対し、高校生及び支援者たちサポーターが集まり、日本語教科学習指導や生活相談等も行う「おるがったステーション」を国際交流会館において開催しました。

日 時：毎週日曜 10:00～12:00（中学生対象）、14:00～16:00（小学生対象）

場 所：国際交流会館 5F 和室、5F 小会議室（洋）

参加人数：延べ 233 人（中国、韓国、フィリピン、スリランカ等）

活動人数：延べ 167 人（サポーター）

共催団体：NPO 法人外国から来た子ども支援ネットくまもと

③ 「熊本・外国ルーツの子ども支援連絡協議会」事業

外国ルーツの子どもたちを支援するため、日本語指導に携わっている方々を対象に実務者研修会を企画、新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインで開催しました。

日 時：令和 4 年 3 月 5 日（土）13:30～16:00

場 所：国際交流会館 4F 第 3 会議室

参加人数：25 人（関係者 7 人含む）

④ 連携事業

熊本市立黒髪小学校日本語センター校開校式及び、閉校式は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。